

笑ってごらん

第 602 号 H. 29. 11. 1 発行

～今日のことば～

達成するまでそれは不可能に見える。

(南アフリカ共和国第 8 代大統領

ネルソン・マンデラ)

◇◆今日から 11 月、「霜月」の名の通り、気温の低い朝には霜が降りる季節となった。台風の影響もあってか、2 日前に関東で初霜が観測されたらしい。皆さんは霜と霜柱は出来方が異なることを知っているだろうか？何となく「霜柱は霜の親分みたいなもの」といった認識ではないだろうか？霜というのは低温にさらされた空気中の水分が建物の壁などに触れた刺激で氷結したもの。一方、霜柱は土の中の水分が氷結し、地表に押し上げられてできたもの。両者にはこんな違いがある。 ◆今日から冬服に完全更衣。夏の期間「クールビズ」を適用してきたので、ネクタイや袖口・胸元のボタンがおろそかになっている人を見かける。「身だしなみがきちんとできない人は何事にもルーズである」として信用されないことがある。服装容儀については生徒指導部長より度々注意がなされる状況下にあるが、皆「守るべきことはしっかり守る」姿勢を身につけて欲しい。 ◇◆本市地頭所地区の旧製パン工場の建物が取り壊され、今、徐々に更地化されつつある。

たくさんの瓦礫が生じ、それら进行处理するため何台もの重機が作業をし、トラックが頻繁に出入りしている。パン会社の工場新設移転後は廃屋となり、荒れ放題になっていた。現在、そんな場所の整備が進んでいる。建物が無くなってみると、「こんなに広がったのか・・・」と正直思った。そして次に一市民としては、「さて、ここには何ができるのだろうか？」という興味湧く。それらしき話はいくつか耳にしているのであるが、どれがホントなのか皆目わからない。まあ、そのうち新しい施設の建築が始まればわかることゆえ、それを待つしかない。またひとつ街の風景が変わっていく。



感謝道

◇◆2 週続けて週末に台風が来襲した。台風そのものの暴風による被害もさることながら、台風により秋雨前線が刺激され豪雨となった地域も多かった。特に、先の台風 21 号被害の修復作業が未了のところから台風 22 号襲来とあって、各地で被害が甚大なものとなっている。本校付近においては幸いにも目立った被害は無かったが、傷ましい被害映像報道を観るにつけ、自然の力の大きさに驚くばかりである。被害地域の皆様にお見舞い申し上げる次第。 ◆台風 22 号襲来においては本校も文化祭の模擬店の一部中止を余儀なくされ、大きな影響を受けた。遡ること 24 日（火）、模擬店について「予定通り実施」の判断を行った後、台風 22 号北上の予報。しかし、21 号より勢力が弱く、進路予想も海側ルート、かつ、最接近が 29 日（日）であったことから、28 日（土）は雨天ながらも実施可能と見積もっていた。もちろん、大雨の場合は（今回急遽切り替えた通り）規模を縮小して行う「第 2 案」は準備してあった。ただ、模擬店の準備にはかなりの労力を要し、業者への食材発注済みの実態もあったことから、当初の計画通り「小雨決行」でいく心づもりであったのだ。「生徒諸君が準備を頑張ってきたのだから、できる限り実施、楽しんでもらいたい」・・・当日朝まで、ただただそう願っていた。28 日（土）朝も雨は降っていたものの、「多少濡れるかも知れないが、実施可能」と GO サインを出した。しかし、準備作業に入ったところ、突風が吹き、立てたテントが煽られて浮き上がる状況が続く「危険」と判断、模擬店調理団体の活動中止を決定した。急な変更であったので、一旦準備完了したものの解体・撤去・移動となり、先生方・生徒の皆さんには大変迷惑をかけた。申し訳ない。結果、小規模な模擬店実施となった訳だが、生徒の皆さんの笑顔が見受けられたことは不幸中の幸いであった。お疲れ様。